

平成27年度「都市景観大賞」 (景観づくり活動部門)

応募要領

主 催：「都市景観の日」実行委員会

後 援：国土交通省

事務局：公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽206

TEL 03-6912-0799 FAX 03-6912-0930

URL：http://www.udc.or.jp E-mail：info@udc.or.jp

目 次

1. 目的	1
2. 募集対象	1
3. 応募者の資格	2
4. 表彰取組数	2
5. 審査及び表彰（予定）	2
6. 審査委員	3
7. 応募方法及び応募先（応募図書提出先）	3
8. 応募図書等	3
9. その他	4
10. お問い合わせ先	4
添付資料	
■応募図書記入要領	5
様式1-1 応募申請書	7
様式1-2 応募担当者連絡先	8
様式2 景観制度を活用した景観づくり活動の取組に関する調書	9
様式3 写真説明書	12

1. 目的

都市の景観は国民共有の誇りうる財産として、美しく風格のあるものであり、また、地域固有の歴史や風土が尊重され、そこで生活し活動する人々にとって、親しみと敬意の対象とならなければなりません。

都市景観の日実行委員会は、良好な都市景観を育むため、互いに協力しあい、工夫をこらした意欲的な実践に、ともに取り組むことを広く呼びかけ、その一環として平成3年より都市景観大賞を実施しています。

都市景観大賞「景観づくり活動部門」は、景観法に基づく景観計画や景観地区制度を活用したデザイン誘導、景観重要建造物・樹木の外観の保全、景観協定制度を活用した市民が主役の景観づくり活動等、景観法や景観に関連する制度（以下「景観制度」という。）を活用した優れた取組を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 募集対象

次の1)又は2)の取組を対象とします。

- 1) 景観法に基づく優れた取組（景観計画や景観地区制度を活用したデザイン誘導、景観重要建造物・樹木の保存や景観重要公共施設の適正管理に係る市民活動、景観協定制度を活用した市民が主役の景観づくり等）であって、その取組が良好な景観形成に対して顕著な効果が発現しているもの、又は将来において顕著な効果発現が期待でき、現にその一部が発現しているもの
- 2) 景観制度を活用した優れた取組であって、地域の人々の景観への意識向上につながっているもの

募集対象は上記の通りで、これ以外に条件はありませんが、例えば以下のような取組が考えられます。

〈対象取組の例示〉

○住民等の景観計画の提案による景観まちづくり（景観法）

地域の特性と個性に応じた、きめ細かな景観づくりを、それぞれの地域において自分たちで考え、提案した取組など。

○景観地区の指定による、公共空間を含めた良好な景観形成への取組（景観法）

公共空間の良好な景観形成の実現を図るため、住民等との協働により周辺一帯を建物の高さや壁面後退などに制限を課す景観地区として指定し、景観価値を高める取組など。

○屋外広告物等の改善による眺望景観の創出（景観法・屋外広告物法）

景観法による景観計画における眺望の視点場の設定と併せて屋外広告物の表示又は設置の適正化を企業・NPOなど多様な主体と図り、眺望景観を創出する取組など。

○景観規制の総合展開による景観まちづくり（景観法・歴史まちづくり法）

景観計画と併せて、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）の趣旨に沿って、景観誘導を図る取組など。

○景観チェックシステムによるきめ細かな景観形成への取組（景観法・独自の取組）

景観計画に基づく届出対象外の行為について、景観行政団体による独自の基準や手続きを定め、景観に配慮する事項をチェックすることにより、きめ細かく地域の景観形成を図る取組など。

3. 応募者の資格

応募者の資格は、次の1)～3)のいずれかを満たしており、景観制度の活用開始後、原則3年以上経過している取組に係る団体とします。

- 1) 景観制度を活用した景観行政団体又は景観整備機構、景観協議会
- 2) 景観協定締結や景観計画提案、景観重要建造物の保存管理活動等を実施又は支援したまちづくり組織、市民団体その他の団体
- 3) 景観制度を活用し、地域の人々の景観への意識向上につながっている優れた取組を行っている団体

4. 表彰取組数

- ① 大賞（国土交通大臣賞） 1 取組
- ② 優秀賞 数取組

5. 審査及び表彰（予定）

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考等※）した上で、表彰する取組を選定します。

表彰については、平成27年6月に東京で開催されるまちづくりや景観にちなんだ行事の場において実施する予定です。

※場合によっては、現地視察やヒアリングをお願いすることもあります。

■審査に当たっての評価ポイント

- 地域固有の特性と密接に関連した取組の独創性や工夫を評価します。
- 現在・将来において顕著な効果発現が期待できる取組を評価します。
- 地域や民間企業等の多様な関係者による合意形成やその支援の取組を評価します。
- 景観の形成・維持管理・活用面における市民参加（市民の関わり度）を評価します。

6. 審査委員

委員長 卯月 盛夫 早稲田大学 教授
委員 池邊このみ 千葉大学大学院 教授
北村 喜宣 上智大学法科大学院長
小浦 久子 大阪大学大学院 准教授
清水 千弘 麗澤大学 教授
出口 敦 東京大学大学院 教授
西山 徳明 北海道大学 教授
福井 恒明 法政大学 教授
山畑 信博 東北芸術工科大学 教授
国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略：平成26年10月現在)

7. 応募方法及び応募先（応募図書提出先）

応募しようとする方は、下記8に記載する応募図書を、平成26年12月25日（木）までに（消印有効）、下記提出先までご送付ください。

提出先：〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽 206号
公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター内
「都市景観の日」実行委員会事務局
TEL：03-6912-0799 E-mail: info@udc.or.jp

8. 応募図書等

応募にあたっては、以下の図書の電子データをCD-ROMに収録し、提出してください。

1	様式1	応募申請書・応募担当者連絡先
2	様式2	景観制度を活用した景観づくり活動の取組に関する調書
3	様式3	写真説明書
4		※様式3で使用した各写真の電子データ
5	補足資料	パンフレット等

※次頁「■提出に当たっての留意事項」を必ずお読みください。

※様式1～様式3については、下記のホームページ上に掲載してありますので、ダウンロードして、ご活用ください。

URL：<http://www.udc.or.jp> 中の「都市景観大賞」のページ

■提出に当たっての留意事項

- ① 応募図書は全て電子データにしてください。
- ② 様式1～様式3について、ホームページ上からダウンロードしたものをご利用されない場合は、編集可能なテキストデータ（一般的な文書作成ソフトで読み込みできるもの）にしてください。
- ③ 写真の電子データについては、報告書印刷原稿として、またパネル展示用に引き延ばして利用しますので、様式3に貼り付けたものとは別に、高解像度（写真一枚当たり500KB程度以上）のものをバラで用意してください。データ形式は、JPEG、BMP、TIFF形式としてください。ファイル名は、団体名と番号（様式3で用いた番号と一致するもの）で、下記表示例のようにしてください。

ファイル名の表示例：△△地区01、△△地区02、・・・

地区名が長い場合は略称でも構いません。番号は半角数字で01、02、03・・・としてください

- ④ 補足資料の提出は必須ではありません。必要に応じて、対象地区の案内や、地区の事業・活動等を紹介したパンフレット等の資料を、補足資料としてつけてください。
提出される場合は、取組み内容・成果等について理解を深めるために必要と判断されるものを厳選してください。
対象取組による効果が一目で分かるような、現在の姿と過去の姿を対比できるような写真等があれば、補足資料としてつけてください。
パンフレット等の印刷物の場合は、スキャンし、PDF形式等に変換されたものを提出してください。

9. その他

- ・受賞の有無に拘らず、全応募取組に対して、審査結果を実行委員会より連絡致します。
- ・「都市景観の日」実行委員会及び公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンターは、応募事例を第三者に紹介（有料もしくは無料）するにあたり、図書の出版、又はビデオテープその他の媒体に応募図書を無償で使用する権利を有します。
- ・表彰取組については、パネルを作成し表彰式等で展示する予定です。このパネルは、地方行事への貸し出しも可能です。

10. お問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば下記事務局までご連絡、ご相談ください。

公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター内

「都市景観の日」実行委員会事務局 都市景観大賞担当 護・南

TEL：03-6912-0799 FAX：03-6912-0930

URL：http://www.udc.or.jp E-mail: info@udc.or.jp

応募図書記入要領

1. 都市景観大賞「景観づくり活動部門」応募申請書（様式1-1）

1) 申請書のあて先

・「都市景観の日」実行委員会会長と記入してください。

2) 代表者氏名

・応募者全てについて、団体名、代表者名、住所を記入してください。

3) 取組名

・取組名は、当該応募の取組内容を最もよくあらわす名称としてください。

2. 応募担当者連絡先（様式1-2）

1) 担当者氏名

・実際に応募の事務を執る方の氏名を記入してください。

2) 担当者連絡先

・担当者の住所、電話番号、FAX番号、E-mail アドレスを記入してください。

※応募の事務を執る方のうち、電話・電子メール等による連絡が常時可能な方で、事務局及び応募者の方々との連絡・調整役に相応しい方を応募担当者としてご登録ください。

3. 景観制度を活用した景観づくり活動の取組に関する調書（様式2）

1) 取組名

2) 取組対象エリアの概要

① 取組対象エリアの地区名称

・取組のエリアについて最もよくあらわす名称としてください。また、景観計画の区域内を対象としている場合は、区域名称を記入してください。

② 取組対象エリアの景観やまちづくりの概要

・取組対象エリアにおける、景観の状況やまちづくりの概要について簡潔にご記入ください。

3) 取組内容

① 取組目的と内容

取組目的・取組内容をその背景にある地区の状況や課題と併せてご記入ください。また、景観制度の活用にあたって特に工夫したことやねらいなどのポイントをご記入ください。

② 取組団体の概要（設立趣旨、経緯など）

取組団体の設立趣旨・経緯について記入してください。また、取組に複数の団体関係している場合はその団体との関係性についても記入してください。

③ アピールポイント

受賞した際に、その取組内容を発表するため、使用する原稿です。取組内容のアピールポイントを、400字以内で明記ください。

④ 取組に関するホームページ

取組を紹介しているホームページがあれば、URLをご記入ください。

4) 取組の経緯

これまでに実施した具体的な取組について、ご記入ください。
また、経緯の記入に当たっては、評価のポイント(P2)も参考にしてください。

5) 取組効果と評価指標

取組の効果についてポイントになることをご記入ください。記入に当たっては、「審査に当たったの評価ポイント(P2)」も参考にしてください。

<評価指標>

取組の成果効果を評価するにあたっての指標をご記入ください。評価指標は複数記載しても構いません。

<指標の変化>

また、評価指標に基づく、景観制度活用前後の指標の変化をご記入ください。なお、指標の変化はできるだけ客観的なデータをご記入ください。定量的に示すことができない場合は写真等で表現しても構いません。

6) 取組の今後の展開

今後、実施しようと考えている具体的な取組の展開方針について、ご記入ください。

4. 写真説明書 (様式3)

- ・写真説明書には、各々の写真の下に番号と各写真の簡潔な説明文(20~30字程度)を付けてください。
- ・写真の選定に当たっては、景観制度活用前後の町並み写真、地域での会合の様子など、活動の様子や内容がわかる写真を選んでください。
- ・アピールポイントの内容に対応するものは、必ず入れて下さい。

※なお、応募図書に記載された地名・固有名詞にはふりがなを付けてください。

平成 27 年度「都市景観大賞」（景観づくり活動部門）

応募申請書

平成 26 年 月 日

「都市景観の日」実行委員会会長殿

(ふりがな)
応募団体名
代表者氏名
住所 〒

(ふりがな)
応募団体名
代表者氏名
住所 〒

平成 27 年度「都市景観大賞」（景観づくり活動部門）に、下記の実組を申請致します。

記

(ふりがな)

取組名： _____

(注)：応募者全てについて記入してください。応募者が複数の場合は、本用紙を追加してご記入ください。

応募担当者連絡先

(ふりがな)

団体名 : _____

・ 担当者氏名 : _____

・ 担当者部署名 : _____

・ 担当者連絡先

住所 : 〒 _____

電話 : _____

FAX : _____

E-mail : _____

(注) : 応募の事務を執る方のうち、電話・電子メール等による連絡が常時可能な方で、事務局及び応募者の方々との連絡・調整役に相応しい方を応募担当者としてご登録ください。

(2) 取組団体の概要（設立趣旨、経緯など）

（取組団体の設立趣旨・経緯について記入してください。また、取組に複数の団体関係している場合はその団体との関係性についても記入してください。）

（例）

「△△△（団体名）」

- ○○年に設立。
- ○○年に景観形成への取組を開始。
- ○○年に景観計画を提案。

「◇◇◇（団体名）」

- ○○年に景観行政団体となった。
- ○○年に景観地区を策定。

○○年から△△が◇◇と連携し、景観形成への取組を推進。

(3) アピールポイント

（受賞した際に、その取組内容を発表するため、使用する原稿です。取組内容のアピールポイントを、400字以内で明記ください。）

(4) 取組に関するホームページ

（取組を紹介しているホームページがあれば、URLをご記入ください。）

URL：

4. 取組の経緯

（これまでに実施した具体的な取組の経緯について、ご記入ください。）

5. 取組効果と評価指標

<p>(取組の効果についてポイントになることをご記入ください。)</p> <p>※記入に当たっては、「審査に当たっての評価ポイント(P2)」も参考にしてください。</p>	
評価指標	<p>(取組の効果を評価するにあたっての指標をご記入ください。複数記載可。)</p> <p>(例)・観光客数 ・景観に関する市民満足度 ・景観づくり活動への参加度 など</p>
	<p>(評価指標に基づく、景観制度活用前後の指標の変化をご記入ください。なお、指標の変化はできるだけ客観的なデータをご記入ください。定量的に示すことができない場合は写真等で表現しても構いません。)</p> <p>前</p> <p>(例)・10万人(平成14年)(「〇〇調査」) ・市民の景観に対する意識調査において、やや満足も含め40%が満足していると回答(平成23年) ・〇〇景観会議への参加者数△△人(平成20年)、景観協定締結者数〇〇人(平成21年) など</p> <hr/> <p>後</p> <p>(例)・20万人(平成26年)(「〇〇調査」) ・市民の景観に対する意識調査において、やや満足も含め60%が満足していると回答(平成25年) など ・〇〇景観会議への参加者数△△人(平成26年)、景観協定締結者数〇〇人(平成26年) など</p>

6. 取組の今後の展開

<p>(今後、実施しようと考えている具体的な取組の展開方針について、ご記入ください。)</p>

写真説明書

団体名： _____

<p style="text-align: center;">写真No. 1</p> <p style="text-align: center;">画像データを貼りつけてください。</p> <p>※取組の効果がわかる写真(景観づくり活動の取組前後の町並み写真、地域での会合の様子など)を提出してください。 ※アピールポイントの内容に対応するものは、必ず入れて下さい。</p>	<p style="text-align: center;">写真No. 4</p>
写真 No. 1	写真 No. 4
写真の説明文(20～30字程度) (例) 景観づくり活動の取組前後の町並み写真、地域での会合の様子	写真の説明文(20～30字程度)
<p style="text-align: center;">写真No. 2</p>	<p style="text-align: center;">写真No. 5</p>
写真 No. 2	写真 No. 5
写真の説明文(20～30字程度)	写真の説明文(20～30字程度)
<p style="text-align: center;">写真No. 3</p>	<p style="text-align: center;">写真No. 6</p>
写真 No. 3	写真 No. 6
写真の説明文(20～30字程度)	写真の説明文(20～30字程度)

※写真説明書は必要に応じて、本用紙を追加してください。